

第2号は救急車を！

こんにちは。第2号は発行が遅れてしまい申し訳ありません。第2号は命を守る～救急車両運営事務局が編集を担当します。当部署の担当時は救急車についての話題をお伝えしていこうと思っています。そこでしばらくは日本で活躍している救急車の車種別車両紹介をしたいと思います。第一弾は救急車で高いシェアを誇るトヨタハイメディックです。では今号もどうぞ最後までお付き合いください。

今号の Contents

- ・ 今回の記事 救急車大紹介① トヨタハイメディック
- ・ 編集後記

今号の編集担当 命を守る～救急車両 運営事務局

編集について

本誌の編集は愛救館の各部署が交代で担当します。

それぞれの担当分野を中心に救急医療の話題をお送りします。

今回の記事 救急車大紹介① トヨタハイメディック

トヨタハイメディックは1992年に発売されて以降、3回のフルモデルチェンジを経て現在に至ります。未だ現役の初代型もあります。下の3枚の写真が初代から3代目までのハイメディックです。



初代ハイメディック



2代目ハイメディック



3代目(現行)ハイメディック

この区分以外でもマイナーチェンジはしています。3代目の写真は現在最新の救急車です。現行車について説明すると燃費が良く、特に都心部では使いやすいといわれています。患者室がシリーズで最も大きく、高度な処置も行いやすいのも現行の良い点です。他車種との比較では、患者室内へのサイレン音進入が抑えられていて静音性に優れているといわれています。またかつて救急車はトラックやバンベースが多く乗り心地が悪いものとされていましたが、その点も最新車両では大幅に改善されています。またベース車両からの改造を最小限に抑え、コスト削減をおこなっています。結果価格も大幅に安くなりました。装備によって異なりますが1000万円台が相場です。かつてよりかなり安くなっています。下の写真は2車種の患者室です。常に進化しています。

2代目ハイメディック



現行ハイメディック



編集後記

今回は命を守る～救急車両運営事務局が編集を担当しました。救急車って目にすることが一番多い緊急車両ですが、知らないことも多いですね。少しでも知っていただければ嬉しいです。次回担当時は日産パラメディックをとりあげる予定です。